

福岡Session2019 共に生きる

実施報告書

開催日:平成31年3月23日(土)

福岡県障がい者芸術文化活動支援センターSCORE

実施概要

- 名 称 福岡Session2019 共に生きる
- 開催日程 2019年3月23日(土)
- 開催時間 12:00～16:30
- 開催場所 石橋文化ホール
- 実施内容 ダウン症の天才書家として世界で活躍中の金澤翔子様による席上揮毫(舞台上で書の披露)を開催。また、金澤泰子様による講演会も同時開催。翔子様と共に歩んだ親の視点で、障がいのある子どもたちとのコミュニケーション、そして、幸福感にあふれる毎日を送る今の生活にいたるまでのご自身の思いや考えの軌跡を講演。ステージイベントとしてNHK交響楽団との共演でも有名な【デフボディパーカッションクラブ】によるパフォーマンス。【Vivimos】によるライブも開催。
- 主 催 福岡県障がい者芸術文化活動支援センターSCORE
- 共 催 NPO法人らいふステージ
- 後 援 福岡県 福岡市教育委員会 福岡市社会福祉協議会 読売新聞社 毎日新聞 RKB毎日放送、テレビ西日本、FBS福岡放送、九州朝日放送、TVQ九州放送 NHK福岡放送

実施実績(結果)

総来場者数

819名

■コーナー別 来場者数

金澤翔子 席上揮毫

780名

金澤泰子 講演会

819名

デフボディパーカッションクラブ
パフォーマンス

740名

Vivimos ライブ

720名

会場概要

会場(全体)

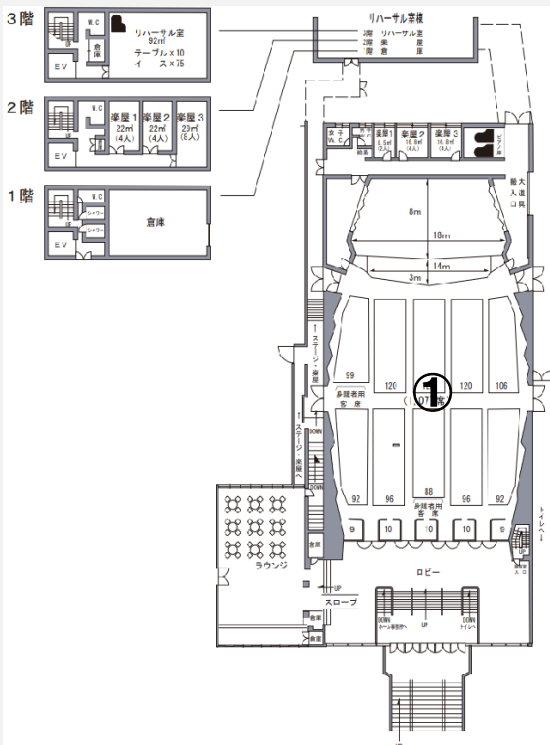


■会場 石橋文化ホール

■住所 福岡県久留米市野中町1015

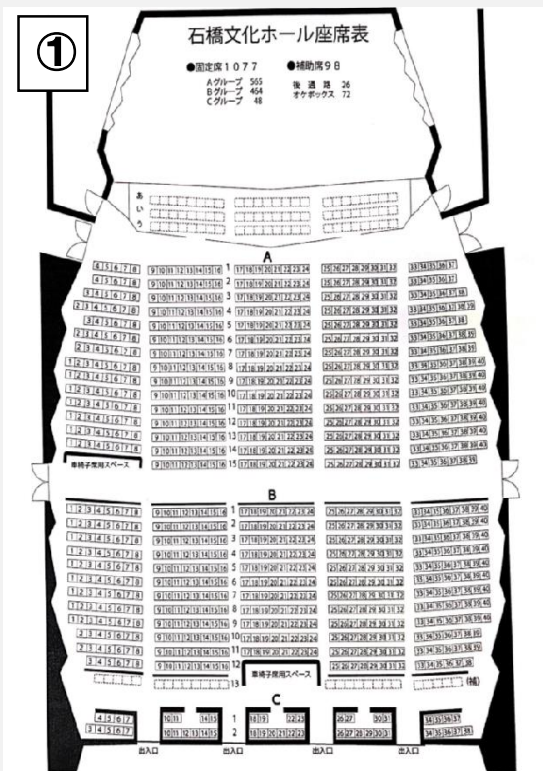
■アクセス
空路 福岡空港より西鉄久留米駅まで西鉄高速バスで約50分
電車 JR博多駅よりJR久留米駅まで 特急で30分、快速で40分
 西鉄福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで 特急で30分、急行で40分
バス JR久留米駅より約15分、西鉄久留米駅より約5分
 西鉄バス1・7・8・9・20・22・25系統。「文化センター前」下車主な行き先は、「吉井」「田主丸」「信愛女学院」など
徒歩 西鉄久留米駅より約10分
車 久留米インターより約10分(距離約3.5km)

会場(詳細)



- 会場 石橋文化ホール
- 物販 小郡市内の事業所(8事業所)
ロビーではなくラウンジで販売を行った。
販売時間: 12時~17時
- 控室 ステージ裏(楽屋1~3)、リハーサル室棟(楽屋1~3)
- PA 図面①の位置
- 注意事項
ラウンジで販売を行う際は別途使用料金あり

会場(詳細)



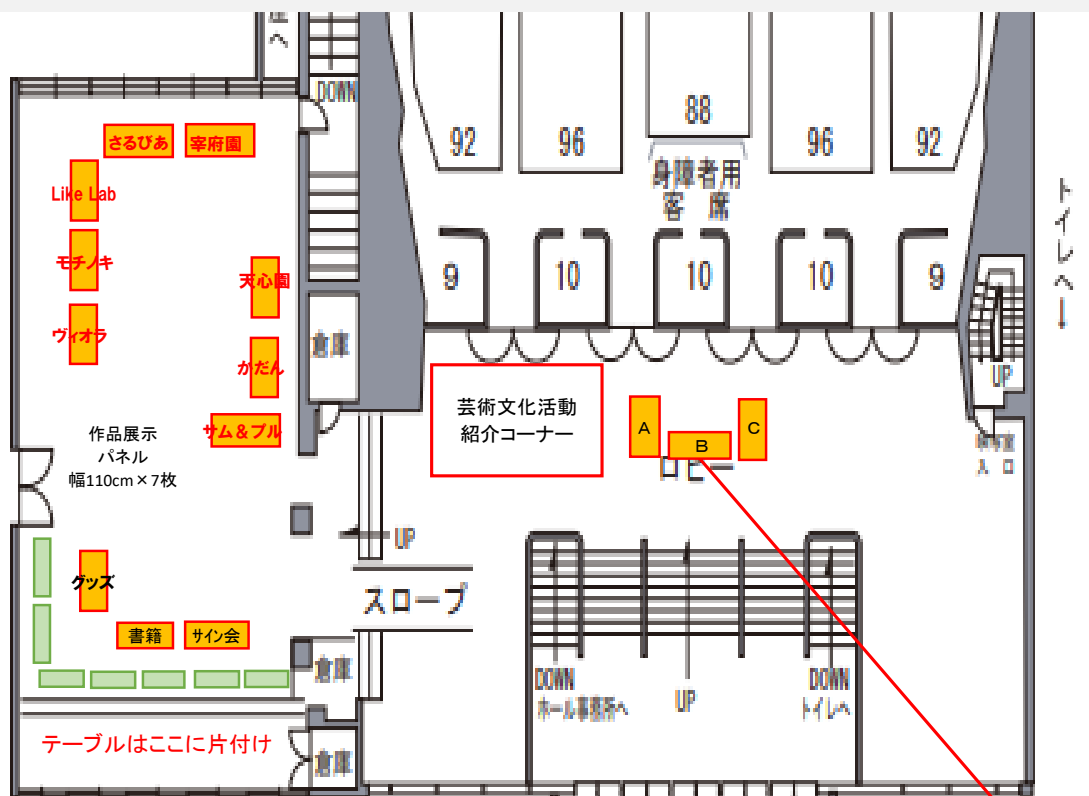
① 平面図

② ステージの養生

③ ステージから座席の眺め



販売コーナー(レイアウト)



サイン会の様子

来場者 受け付け
 A チケット・招待券あり
 B 予約あり
 C 当日券



■来場者受付 来場者数チェック、SCOREパンフレット配布、アンケート配布

■販売コーナー 筑後地区の事業所による販売

1. さるびあ作業所
2. 幸府園
3. モチノキ
4. ヴィオラ
5. サム&ブル
6. 天心園
7. Likelab
8. ピアサポートかたん
9. 金澤さんグッズ販売

1～8の障がい者福祉サービス事業所による物販販売のほかに、福岡県内で金澤翔子様・泰子様のグッズ・アート作品を販売している【アート企画】様による販売コーナー並びに、作品紹介コーナーを併設。

全体スケジュール

イベント全体スケジュール【前日】

日付 時間	石橋文化ホール【会場】	ロビー【販売コーナー】
18:00	スタッフ集合	スタッフ集合
18:00	音響の準備	販売コーナーの準備 ロビーの準備終了後会場内の 手話席、車いす席の張り紙掲示
19:00		
20:00	Vivimosリハーサル	
21:00	Vivimosの楽器は乗せたまま翌日を迎える	
22:00	終了	

開催日の2日前に販売用の書籍と、揮毫のための道具一式が、らいふステージ小郡に送付された。開催終了後、ホールで梱包。後日、金澤様あてに郵送。



全体スケジュール

イベント全体スケジュール【当日】

日付 時間	石橋文化ホール【会場】	ロビー【販売コーナー】
9:00	スタッフ集合	スタッフ集合
9:00	パーカッションセッション リハ	会場準備(ロビー、ホール、広場等)
9:40	デフボディーパーカッションクラブ リハ	
10:10	ステージの養生(11時30分までには完成)	
11:30	スタッフ集合 直前ミーティング	
12:00	開場	
13:00	【Session ～静～】 主催者あいさつ	販売 サイン会 1回目:14:20～15:10 2回目:15:10～15:25 3回目:16:00～16:30
13:05	席上揮毫(金澤翔子様) 親子クロストーク	
13:20	講演会(金澤泰子様) 共に生きる～翔子の子育てから学んだこと～ 講演会終了の2～3分前にダンスの披露)	
14:20	20分 休憩【舞台転換】	
14:40	【Session ～動～】 デフボディーパーカッションクラブ	
15:10	15分 休憩【舞台転換】	
15:25	Vivimos	
15:45	【Session ～共～】 パーカッション・セッション	
16:00	終演	
22:00	完全撤収	

ステージプログラム詳細

Session ～静～

■時間／13:05～14:35

■出演／金澤翔子様 金澤泰子様

■内容／金澤翔子様による席上揮毫。席上揮毫のあと金澤泰子様による講演会。講演会終了の2～3分前にマイケルダンス披露



【必要機材・備品】

ワイヤレスマイク

マイクスタンド

水・グラス・時計

※PowerPointの使用なし

※カメラの設置。揮毫ライブ撮影

Session ～動～

■時間／14:55～15:25

■出演／デフボディーパーカッションクラブ

■内容／久留米聴覚特別支援学校 デフボディーパーカッションクラブの方々によるパフォーマンス



ステージプログラム詳細

Session ～動～

■時間／15:40～16:00

■出演／Vivimos

■内容／ロックバンドVivimosによるコンサート



Session ～共～

■時間／16:00～16:15

■出演／Vivimos（ヴィヴィモス）、デフボディーパーカッションクラブ、らいふステージ利用者

■内容／出演者によるセッション。Vivimosの生演奏によるボディーパーカッションパフォーマンス

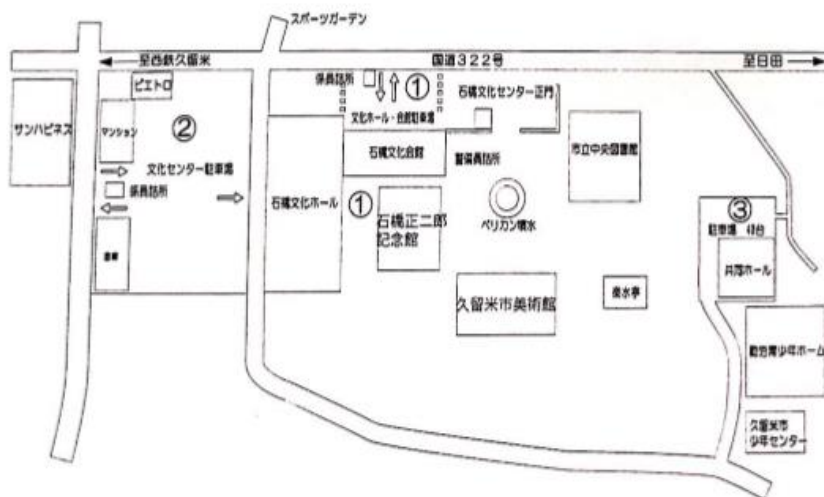


鑑賞支援

- | | |
|------|---|
| 視覚障害 | <ul style="list-style-type: none"> ・会場内の注意事項を音声案内 ・会場内の段差箇所の誘導 ・アンケート代筆 |
| 聴覚障害 | <ul style="list-style-type: none"> ・受付筆談ボードの準備 ・受付UDトークアプリが入ったタブレットの準備(使用無し) ・要約筆記 ・手話通訳 ・座席位置の工夫 ・トイレまでの案内板の設置 |
| 身体障害 | <ul style="list-style-type: none"> ・スロープ側からの入場補助 ・車椅子席の増設(会場中央の通路及び会場入口すぐに設置) ・会場内での移動の際の誘導ボランティア |
| 知的障害 | <ul style="list-style-type: none"> ・イヤーマフ貸し出し(利用無し) ・クールダウン室 兼 救護室の設置 ・パンフレットにタイムスケジュールを記載 ・会場入り口にタイムスケジュールを掲示 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・会場内: 緊急時対応のために看護師を会場係として配置 ・ベビーカーでの来場者の方の補助、授乳室への案内 ・障がい者用駐車スペースの確保(コーンの設置) |

イベント中の駐車について

- 注1 文化センター周辺道路はすべて駐車禁止となっております。
- 注2 施設内進入道路(勤労青少年ホーム前～共同ホール内通路の全区)、は緊急車両の通行に支障をきたしますので、絶対に駐車はしないでください。
- 注3 他施設(勤労青少年ホーム・図書館・スポーツガーデン等)の駐車場は、それぞれの施設利用者のための駐車場です。特にスポーツガーデンへの駐車は、営業妨害になりますのでご注意ください。



来場者アンケート集計及び感想

回答数：266名

1. 本日は何人でご参加頂きましたか？

2. 所属をご記入ください

らいふステージ利用者の保護者又は関係者	22
らいふステージ職員関係者	38
行政職員	23
他施設の利用者又はその保護者・関係者	41
学校勤務者（特別支援学校含む）	42
学生（小・中・高・大・専）	20
一般参加 福岡市在住	42
一般参加 その他在住	38

3. 本日のプログラムでもう一度見たい、参加したいと思われた内容は？（複数回答可）

金澤翔子 席上揮毫	76
金澤泰子 講演会	66
デフボディパーカッションクラブ	62
Vivimos	62

4. 3を選んだ理由をご記入ください（一部抜粋）

- ・翔子さんの書くシーンが少し短く感じた。
- ・どうしても会いたい。見たい方でした。
- ・障がい者の芸術、舞台芸術。とても良いですね。
- ・芸術に障害のあるなしは関係ない。パワーもらえました。
- ・VIVIMOS増々元気になってる感じがする。
- ・泰子お母さんの話感動しました。ボディパーカッション楽しかったです。元気もらいました。
- ・すべて良かったです。パフォーマンス・コンサートもメッセージに共感できました。
- ・話の内容が非常に役に立つ。パーカッション等楽しい。やってみたい。
- ・障害を持つ人、持たない人。すべてに今日の話を聞いてもらいたい。

5. このイベントのご意見、ご感想の記入をお願いします。

- ・とても見たかったので久留米で開催してくれて本当にうれしかったです。
- ・みなさんすばしかったです。
- ・通常、福祉のあり方にモヤモヤする事も多くもっと社会に普通に参加できますように。
- ・心洗われる場面が多く、心の勉強会ですね。
- ・障害のある方も楽しんで参加でき見れる環境でまた来たいと思いました。
- ・テレビで拝見するより感動が違いました。
- ・書道展示かと思い来館しましたが大変感動しました。
- ・どの出演者も色々な場面で活躍されているのを認識させられました。応援したいと思います。
- ・闇の中には大きな光がある。客席より勉強させていただきました。
- ・パーカッションに会場の人たちが参加してリズムを作るのが楽しかった。体で出来る表現活動！
- ・舞台にテレビ画像で文字が出てわかりやすかったです。
- ・友人の勧めでしたがそれまで全く知りませんでした。情報をもっと広くして欲しい。
- ・スゴイものを見た！
- ・芸術文化活動を通じて障害のある人もない人も混じり合う社会にしていきたいと思いました。
- ・当事者の方々への癒しがあって、生活が落ち着いてからこそその芸術では？これからの福祉に期待。

来場者アンケート集計

考察

参加者からの感想は概ね好評。なかには「障がい者の美術、舞台芸術。とても良いですね」「芸術に障がいのあるなしは関係ない。」等の感想もあり、障がい者の芸術文化活動の普及イベントとして成果はあったと思われる。

企画段階からホールの担当者の協力を得られ、密に相談を行えたことで、舞台上の準備やイベントの広報活動などスムーズに行うことができた。ただ、アンケートの意見にもあったが、まだまだ広報が十分とはいえず(石橋文化センターの友の会会報、西日本新聞など)メディアを通じた広報活動も積極的に行う必要がある。

アンケートに、デフボディパーカッションクラブが行った会場を巻き込んだパフォーマンスに「リズムを作るのが楽しかった」との意見があった。芸術・舞台芸術と聞くと敷居が高いものと感じている方々も少なくないと思う。ただ、決してアートは遠いところにあるものではなく、体ひとつでも表現できる物でもある。今後は、イベントで得た感動を踏まえて「自分もやってみたい」という当事者や支援者の人材育成が重要になるとと思われる。

鑑賞支援に関しては、あらかじめ準備していたが使用しなかった物(UDトーク、イヤーマフ等)もあったが、どのようなお客様がお見えになっても対応できるように準備しておく必要がある。既存のホールを活用しての鑑賞支援については、サポートする側の体制がまだ十分とはいえないため、鑑賞支援を主とした研修会も考慮する必要がある。

障がいのあるなしに関わらず誰もが楽しめる公演を単発では終わらせず、継続して実施していくことで、得られるノウハウ(企画、運営、鑑賞支援など)も増えていくと思う。芸術といっても分野は多種多様に富んでいる。多種多様な芸術活動があることを知っていただきつつ、それを一緒に楽しめる支援者を育成し、どのような方々でも芸術や舞台芸術の鑑賞が楽しめる環境の整備や鑑賞機会を提供していくことが重要であると考ええる。

